



第44回全道自治体職員等野球選手権 2010年8月2日

全道優勝大会(稚内市開催)

発行
— No. 4 —

編集・発行 大会実行委員会事務局 教宣班

苫小牧消防協が

全国大会の切符を手にする！！

南幌町職が接戦を制す！

大沼球場 準決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
南幌町職	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
札幌市職連	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2

南幌町職は2回表1死1、3塁、4回表1死2、3塁の得点のチャンスだったが、エンドラン失敗により得点ならず。
4回裏札幌市職連の攻撃、1死後2番新村選手がライト前ヒット。3番西條選手の時、牽制が暴投で3塁まで進み、西條選手がセンター犠牲フライで先制、4番佐藤選手がライトオーバー2塁打、5番三浦選手がセーフティーバントが成功し、2塁ランナーが還り2点を先取。
9回表、南幌町職の攻撃1死後、7番黒島選手が四球、8番小中選手がセンターオーバーの2塁打、1死2、3塁から9番伊藤選手のライト前ヒットで同点となる。
9回裏、先頭三浦選手がライト前ヒット、6番送りバント、2死3塁のサヨナラのチャンスがあったものの、得点にはならず延長戦に突入。
10回表、南幌町職4番草沢選手が札幌市職連の守備の乱れにより出塁し、続く送りバント、四球、8番小中選手がレフト前ヒットで満塁とし、9番伊藤選手がフォアボールを選び押し出して1点。
その裏、札幌市職連は2死から2番新村選手がセンター前ヒット、初球に盗塁し、3番四球、4番佐藤選手がセンター前ヒットで2塁ランナーがホームを責めるが、南幌町職のセンター草沢選手のレーザービームでホームタッチアウトとなり、ゲームセット。
南幌町職が1点差で決勝へコマを進めた。

苫小牧消防協が守り抜き勝利！

大沼球場 決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南幌町職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苫小牧消防協	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

苫小牧消防協山田投手、南幌町職伊藤投手の先発で始まった決勝戦。
初めに動いたのは2回裏先頭の4番後藤選手がセンター前ヒット、1死後、6番山田選手の2球目に盗塁成功、2死2塁から7番松本選手が左中間に3塁打で1点先制。
4回裏、苫小牧消防協先頭の吉田選手がセンター前ヒット、6番山田選手が送りバント、7番松本選手が四球で1死1、2塁のチャンスを作ったが後続が続かず得点にはいたらなかった。
6回表、2死から鷲尾選手がレフト前、常田選手もセンター前ヒットで1、2塁と同点のチャンスを作ったが、攻撃が続かず残塁となった。
9回表、最後の南幌町職の攻撃も1番鷲尾からの好打順で始まったが、3者凡退でゲームセット、苫小牧消防協が初優勝となった。

苫小牧消防協が決勝進出！

大沼第2球場 準決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
苫小牧消防協	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
白糠町職	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2

3回裏、白糠町職は1死2、3塁から1番田中選手のショートゴロを本塁へフィルダースチョイスで1点を先制。
その後、両チーム投手戦となり、得点を許さなかった。
試合が動いたのは8回表、苫小牧消防協は無死満塁から3番寒河江選手の走者一掃3塁打で3点を取り逆転、続く4番後藤選手の連続3塁打で4点目を追加する。
9回裏、白糠町職は先頭5番五十嵐選手が四球で出塁、1死後ワイルドピッチで一気に3塁まで進塁し、7番代打鈴木選手のセカンドゴロの間にホームイン、続く植野が左中間に2塁打を放つが、後続が倒れ、追撃も及ばず苫小牧消防協が逃げ切った。

各賞受賞者

苫小牧消防協

勝利監督賞

ダイヤモンド賞

最優秀選手賞

殊勲賞

打撃賞

南幌町職

敢闘賞

小杉豊一監督

後藤優也主将

山田耕司投手

松本康太選手

寒河江宏樹選手

伊藤文敏投手

受賞おめでとうございます！！

優勝した苫小牧消防協



優勝旗の授与



準優勝した南幌町職



準優勝メダルの授与



第44回 全道自治体職員等野球選手権全道優勝大会
トーナメント表 (試合結果)

試合会場	A 稚内市大沼球場	稚内市声間
	B 稚内市大沼第2球場	
	C 稚内市若葉球場	稚内市若葉台1丁目 若葉公園内
	D 稚内市営球場	稚内市緑4丁目 みどり公園内

優勝 苫小牧消防協



